

Poster | 心不全・心移植

Poster (II-P25)

Chair: Kiyoshi Ogawa (Saitama Children's Medical Center)

Sat. Jul 8, 2017 6:15 PM - 7:15 PM Poster Presentation Area (Exhibition and Event Hall)

6:15 PM - 7:15 PM

[II-P25-04]先天性心疾患の心不全に対する Tolvaptanの有効性と安全性の検討

○前澤 身江子^{1,2}, 瀧間 浄宏², 百木 恒太^{1,2}, 田澤 星一², 武井 黄太², 安河内 聡², 上松 耕太³, 岡村 達³ (1.長野県立こども病院小児集中治療科, 2.長野県立こども病院循環器小児科, 3.長野県立こども病心臓血管外科)

Keywords: 心不全, Tolvaptan, 尿浸透圧

【背景】 Tolvaptanは強力な水利尿作用を持つバソプレシン V2レセプター受容体拮抗薬で、近年小児循環器領域での使用経験が増加している。【目的】先天性心疾患の心不全に対する Tolvaptanの有効性と効果の予測、安全性について検討した。【方法】2013年10月-2016年12月に入院中に Tolvaptanを開始した35例（うち術後使用例13例）、年齢（1ヶ月-14歳、中央値9ヶ月、男:18）を対象に、診療録を用いて後方視的に Tolvaptan投与前後の尿量、血清 Na、K、Cre、尿浸透圧の変化を調べ、尿量増加の程度と投与前データと相関の有無を検討した。また、投与前後で尿量が20%増加した有効群と増加しなかった無効群で分けてのデータ比較も行った。【結果】 Tolvaptanの初期投与量は中央値0.1mg/kg（0.05-0.18mg/kg）、投与前後3日間の尿量を平均して比較すると尿量は有意に増加した（70.14VS80.06ml/kg/day, p=0.0022）。尿量の増加の程度（前後3日間の尿量比）と Tolvaptan投与前の尿浸透圧、血清 Naに相関は認めなかった。有効群、無効群で分けても Tolvaptan投与前の尿浸透圧、血清 Naに差はなかった。投与前後で血清 Naは有意に上昇し（133.8 VS 136.6, p=0.007161945）、特に無効群で有意に上昇していた。高 Na血症による投与中止例は1例であった。投与前後の血清 K、Creの有意な変化はなかった。【結語】 Tolvaptanの投与は先天性心疾患の尿量増加に有効で、利尿効果は投与前の尿浸透圧に左右されなかった。Tolvaptanはどのような先天性心疾患の心不全例でも有用な可能性がある。